

事業報告書

令和3年度

令和3年4月1日～令和4年3月31日

株式会社 橘花会
ベアキッズ保育園

1	保育事業報告	<p>保育利用者状況について、開園3年目のため、ほぼ定員を満了した 在園児数を確保した。また、在園児のほとんどが標準時間利用児であ った。今後も長時間保育を念頭においた環境整備や、育児家庭支援の 更なる充実が重要と考えて、保育士配置を検討する必要がある。給料 は雇用契約通り支給した。</p> <p>地域住民を対象に地域子育て支援活動ベアっこ・なかよしを実施し た。社会的意義の重要性を鑑み、育児相談についてもチラシを配り受 付をした。また、地域支援活動利用者が本園の保育理念を理解した上 で入園するなど、地域に園の方針や特徴を伝える効果も高いと考えて いる。</p> <p>保護者の保育体験を実施し、保護者と連携し、地域に開かれた保育 活動を実践した。職員にとっても保育活動の見直しや、職場の活性化 にもつなげることが出来た。</p> <p>重点目標について</p> <p>職員間でのあいさつは増えて、職場の人間関係は向上した。</p> <p>相談しあうことの重要性を職員会議で説明しコミュニケーションを 密にすることは、足りない部分があったため、改善を進めていく。</p>
2	保育内容	<p>保育活動全般に関して保育理念、方針、目標を共有し、園内研修で繰 り返し、議題とし、職員全員が同じ方向を向いてチームとなって保育 を行っていきます。年間カリキュラム、月案に基づいて、週案を構成 し、反省評価へとつなげていき、保育の質向上を目指した。</p> <p>目標を達成するために保育士個人、個人が持てる力を発揮できるよ うに努力し、自分に与えられた役割は何かを意識し、職員間の関係を 高めていきます。ヒヤリハットや事故報告の提出により、小さなミス を共有し、同じミスをしないよう努めた。</p> <p>子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実施した。初年度のため、 運動会は、親子ふれあいデーとして、小規模に実施したが親しみ をもって活動することができた。年間計画の反映とそのフィードバッ クについてスキルアップを図る職員研修に積極的に参加した。避難訓 練について、防災対策係が主体となり、より確実かつ効果的な訓練を 実施した。</p>
3	職員の確保及び職員が働きやす い職場環境づくりに対する考え 方と取り組み	<p><職員の確保></p> <p>職員は配置基準を満たして雇用することができた。シフト作成に気を 使いワークライフバランスを考えた勤務にした。</p> <p>次年度から姉妹園の四街道園が開園するため、栄養士は兼務者を増員 した。</p> <p><職員構成></p>

		<p>園長 1 名 主任保育士 1 名 保育士 12 名 調理員 4 名（兼務栄養士 1 名・調理員 3 名） 事務員 2 名 嘱託医 2 名（非常勤） 非常勤、パート若干名</p> <p><勤務評定制度について> 保育園自己評価を年 1 回実施して、客観的に評価した。</p> <p><職員の安全・衛生・健康管理について> 職員の健康を維持するために、下記内容を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断 1 回（常勤職員） ・職員インフルエンザ予防接種補助 ・コロナワクチン接種推奨 										
4	コンセプト	<p><事業概要> ベアキッズ保育園の運営</p> <table border="1" data-bbox="608 958 1469 2107"> <thead> <tr> <th data-bbox="608 958 762 1010">区分</th> <th data-bbox="762 958 1469 1010">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="608 1010 762 1346">計画地・建物</td> <td data-bbox="762 1010 1469 1346"> 場所：市川市鬼高 2-13-16 最寄駅：JR 総武線「下総中山駅」より徒歩 8 分 敷地面積：303.81 m² 建築面積：181.77 m² 延床面積：327.97 m² 構造：鉄骨造（耐火） 園庭（代替）：大堤公園 プール遊びスペース：あり 駐車場：なし 駐輪場：あり（5 台） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 1346 762 1921">保育理念</td> <td data-bbox="762 1346 1469 1921"> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を第一に考えます。 ・日々成長する子ども達を見守り、適切な環境を提供します。 ・子どもの能力向上を目指し、知育、体力づくりを援助していきます。 ・健全な心身の発達を図り、優しく、温かな人間関係を創造出来る様援助します。 ・愛情を持って触れ合い、協調性、思いやりの心を育てる保育に努めます。 ・優れた教育を行えるように、保育者にも優しい保育園を目指します。 ・ご家庭との連携を大切にします。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 1921 762 2018">保育方針</td> <td data-bbox="762 1921 1469 2018">「丈夫なからだ」「広い社会性」「豊かな情操」「確かな基礎能力」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 2018 762 2107">保育目標</td> <td data-bbox="762 2018 1469 2107">くつろいだ環境の中で情緒の安定を図り、「心も体も健康な子ども」「感性・創造性豊かな子ども」「意欲的で</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	計画地・建物	場所：市川市鬼高 2-13-16 最寄駅：JR 総武線「下総中山駅」より徒歩 8 分 敷地面積：303.81 m ² 建築面積：181.77 m ² 延床面積：327.97 m ² 構造：鉄骨造（耐火） 園庭（代替）：大堤公園 プール遊びスペース：あり 駐車場：なし 駐輪場：あり（5 台）	保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を第一に考えます。 ・日々成長する子ども達を見守り、適切な環境を提供します。 ・子どもの能力向上を目指し、知育、体力づくりを援助していきます。 ・健全な心身の発達を図り、優しく、温かな人間関係を創造出来る様援助します。 ・愛情を持って触れ合い、協調性、思いやりの心を育てる保育に努めます。 ・優れた教育を行えるように、保育者にも優しい保育園を目指します。 ・ご家庭との連携を大切にします。 	保育方針	「丈夫なからだ」「広い社会性」「豊かな情操」「確かな基礎能力」	保育目標	くつろいだ環境の中で情緒の安定を図り、「心も体も健康な子ども」「感性・創造性豊かな子ども」「意欲的で
区分	内容											
計画地・建物	場所：市川市鬼高 2-13-16 最寄駅：JR 総武線「下総中山駅」より徒歩 8 分 敷地面積：303.81 m ² 建築面積：181.77 m ² 延床面積：327.97 m ² 構造：鉄骨造（耐火） 園庭（代替）：大堤公園 プール遊びスペース：あり 駐車場：なし 駐輪場：あり（5 台）											
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長を第一に考えます。 ・日々成長する子ども達を見守り、適切な環境を提供します。 ・子どもの能力向上を目指し、知育、体力づくりを援助していきます。 ・健全な心身の発達を図り、優しく、温かな人間関係を創造出来る様援助します。 ・愛情を持って触れ合い、協調性、思いやりの心を育てる保育に努めます。 ・優れた教育を行えるように、保育者にも優しい保育園を目指します。 ・ご家庭との連携を大切にします。 											
保育方針	「丈夫なからだ」「広い社会性」「豊かな情操」「確かな基礎能力」											
保育目標	くつろいだ環境の中で情緒の安定を図り、「心も体も健康な子ども」「感性・創造性豊かな子ども」「意欲的で											

		自主性のある子ども」「思いやりのある子ども」を家庭と地域の連携のもと、実体験や人との関わりの中で育む。
	利用定員	0歳(3か月～):6人、1歳:10人、2歳11人、3歳:11人、4歳:11人、5歳:11人 計60人
	開所時間	平日:午前7:30～午後8:00 土曜日:午前7:30～午後18:30
	保育時間	平日・土曜日(標準時間):午前7:30～午後18:30 (短時間):午前9:00～午後17:00
	特別保育事業	①延長保育事業 ②地域活動推進事業(世代間交流事業、中高生保育体験事業等) ③育児・子育て相談
5	安全・安心のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・通園路の危険箇所を確認し市役所、警察に依頼して、注意喚起の標識をつけて頂いた。 ・保育士の事故に対する意識低下を防止するため、1か月に1度「事故防止チェックリスト」への記入を行った。 ・1か月に1度、「設備点検チェックリスト」を用いて、設備・整理棚などの安全点検を実施した。 <p><外出移動時の安全管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出発前に園児の点呼を実施し、園児数と移動行程を施設長に提出した。 ・安全確保のため、必ず、複数の保育士で園児を引率した。 ・保育士が車道側を歩き、園児が自動車と接触することのないように注意を払い、急な飛び出しを常に想定し、引率した。 ・自力歩行が困難な園児にあつては、安全対策としてベビーカーまたはお散歩カーに乗せるようにした。 <p><代替え園庭使用時の安全管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全点検表を整備、活用し、公園を利用する前に、その都度各遊具やその周辺の地表面、その他の設備(水飲み場やベンチ)の安全確認を行った。 ・現地にて遊ぶ前に園児たちに、保育士の目が届く場所の範囲で遊ぶこと、敷地内から出ないこと等の注意事項を伝達しあつて監視した。 ・保育士が緊急時の対応として、園所定のリュック(救急セット、保護者緊急連絡先リスト、予備おむつ、ゴミ袋、汚物入れ袋、携帯電話等を携帯した。 ・職員は常に笛を携帯し、不審者進入時に周囲に危険を知らせるようにした。

6	園児等への配慮	<p><園児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の国籍、信条、社会的身分又は入所に要する費用を負担するか否かによって、差別的取扱いをしないよう、職員の意識共有を職員会議等で図った。 ・利用を始めた年齢の相違により集団生活の経験年数が異なる子どもがいることなど、就学前までの一貫した保育を子どもの発達の連続性を考慮した。 ・子どもの一日の生活の連続性及びリズムの多様性に配慮した。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ「保育の重要性」をはっきりとした認識で伝え、当園の信じる保育方針を見守ってもらい、短期・中期・長期に結果を見える形で報告連絡をして信頼関係を構築した。 ・子育て相談窓口の推進と体制の充実、苦情対応管理体制の整備に努めた。今期苦情は0件であった。 ・日々の連絡帳のやり取りや会話を大切に、安心して預けてもらえるように配慮した。保育参加と個人面談を各1回実施した。
7	給食に対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・1～2歳児昼食、午後おやつ ・3～5歳児昼食、午後おやつ ・延長児補食 ・アレルギー児への除去食対応 ・食育活動（クッキー、箸の使い方、とうもろこしの皮むきなど）
8	非常時及び事故発生時の安全対策について	<p><火災訓練></p> <p>月に1度の避難訓練を実施した。隣家、給食室、事務所などその都度火災発生場所を変え、万が一の事態が起きた時にも慌てることなく冷静に避難が出来るよう訓練をします。また、消防署の査察を受け、年に1回消防署員の監督の下、消火訓練を実施した</p> <p><地震訓練></p> <p>月に1度避難訓練をします。地震発生の発令で、園児の身に危険が及ばないよう、まずは室内中央に迅速に園児を集めます。年に1回は、実際に引き渡し訓練を実施した。また、広域避難場所、一時避難場所まで避難の練習をした。</p> <p><水害訓練></p> <p>当園は川沿いに位置していることもあり、大規模水害が発生した事を想定し、鬼高小学校へ一時避難訓練を行った。</p> <p><不審者侵入された場合の訓練></p> <p>万が一不審者に侵入された場合には、どこの入り口から入ってこられても対応出来るよう、考えられるすべての出入り口を想定し、園児を守る職員、通報する職員、不審者に対峙する職員の動き等の指導を警察から受けた。</p>

		<p><SIDS 予防訓練></p> <p>乳幼児突然死症候群を防ぐために、0才児から2歳児までは、啓発運動を行い職員が有事に慌てることなく対処できるようにした。</p> <p><事故発生時の対応></p> <p>2020年2月に非常時対応マニュアルを見直して、対応方法を決定した。</p>
9	投薬	<p>投薬の実施はなかった。緊急対応のためアレルギー薬、熱性痙攣の座薬をあずかった。</p> <p><薬の保管方法></p> <p>医師の処方箋に基づき処方された薬、投薬依頼書、お薬情報の用紙のコピーをセットにし、1回分のみお預かりした。薬の保管については、事務所での管理とし、冷蔵の必要がある薬に関しては冷蔵保管した。</p>
10	園児の発達状況及び保育目標に関する記録と保育への活用	<p><子どもの保育目標></p> <p>【0才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して眠り、しっかり食べ（飲み）遊び、心地よい生活を送る。 ・人への基本的信頼の気持ちを育てる。 ・這い這いを十分にし、歩行の確立を目指す、言葉に触れる。 <p>【1才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情緒の安定を図り、「自分で」の気持ちを育てながら快適な生活を送る。 ・全身を使い、保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを経験する・言葉の世界を広げていく。 <p>【2才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけていく。 ・好きな遊びを十分に楽しみ皆であそぶ楽しさを知る。 ・言葉や態度での表現で思いを伝える。 <p>【3才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活のしかたを知る。 ・いろいろな遊びを通して保育者や友達との関りを深めていく。 ・言葉やいろいろな方法で自分のしたい事を伝えたり表現したりする。 <p>【4歳児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なよい習慣に関心を持ち、身につける。 ・保育者や友達と一緒にあそびながら関りを深め、自己主張でき

		<p>る・人と触れ合う心地よさを味わう・見たり考えたりする事の興味関心を広げていく。</p> <p>【5才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や態度を身につける。 ・友達同士の関わり合いを深め、一緒に目標に向かい力を合わせ、意欲的・創造的にあそびや活動に取り組み達成感や充実感を味わう。 ・豊かな心情や知的好奇心を高める。 <p><職員間での情報共有・保育への活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりに向き合い、すべてのクラスの子どもの状況をすべての職員が把握できるようにする。登降園の際の保護者からの子どもの情報は些細なことでも、NASに電子データをあげて、連絡ノートへ記入し、全職員が知らせた。 ・各クラス担任は、各家庭と密に情報を共有出来るよう、連絡帳を活用した。知り得た情報で、園全体で把握したほうがよい情報については、逐一発信した。 ・一日の活動内容が保護者に伝わるよう、クラスごとに活動内容を写真や絵にし掲示した。 ・園全体での職員会議を月1回開催し、普段の保育や子ども達の様子を全体で把握するよう努めます。毎日、昼礼を行い、保護者から知り得た、子どもの気になる事や、保育者が気が付き、気を付けなければならない事を情報共有した。 ・園児の発達状況は、その発達についての記録を児童票に残した。
6	保護者に対する情報提供	<p><発行物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だより、保険だより、給食だより、を月に1回発行した。クラス便りは年3回発行した。 ・その他、保護者への周知文書に関しては、その都度発行した。 <p><日常保育の様子を保護者へお知らせする方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用します(0、1、2才)。日々、家庭での様子、園内での様子を連絡帳を使って保護者と情報の共有を図った。 <p><事故発生時における保護者への連絡方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生や、大きな事故で一斉に緊急連絡が必要な場合は、緊急時一斉メールを利用し、保護者へ通知した。
7	認可保育園と保護者あるいは保護者同士の意見交換の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回の個人面談を実施した。 ・園児の家庭での様子を伺うとともに、園内での園児の様子を、最も長く一緒に過ごしている担任保育士より伝えた。
8	保護者からの意見・要望・クレームへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのクレームはなかった。 ・意見箱を設置して、意見の集約を図った。
9	職員の育成方針	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が日々の保育でマンネリ化しないよう、個々の得意な分野を生かしながら保育が行えるよう環境を整備した。

		<ul style="list-style-type: none"> ・園外の研修にはキャリアを問わず積極的に参加出来るよう、勤務時間の工夫をした。 ・月に一度の職員会議で、職場環境等を相談しあった。
10	地域交流	<p>卒園児の連携先である市川市立鬼高小学校の見学に参加した。</p> <p>他施設の様子を垣間見る事で、当園の職員のレベルアップにつながった。</p> <p>地域住民を対象に地域子育て支援活動ベアっこ・なかよしを実施した。</p>
11	保育内容の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの成長を見守り、援助する保育士のレベルがより向上出来る様、第三者委員会を設置した。運営に関する報告会を実施した。 ・市川市の保育課職員による訪問支援において、現場経験を通した専門的な意見や指摘を元に改善を行った。 ・職員会議をとおして、職員が自身の保育を振り返るための時間を設けた。 ・年に3回、園長、職員面接を行い、職員の悩みや考えを受入れ、必要であれば助言・指導を行うことで、保育士がより仕事を楽しみながら行える環境整備を目指した。 ・市川市主催に限らず、保育の現場で役立てたい内容の講演や、研修などに参加した。
12	保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・園児定期健康診断年2回 ・園児定期歯科健診年2回 ・職員健康診断年1回（常勤職員） ・職員インフルエンザ予防接種補助 ・調理員検便検査年12回 ・感染症拡大防止対策 ・園児身体測定年12回
13	年間実施会議	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 月1回 園長・主任保育士・常勤全員 ・リーダー会議 随時 園長・主任保育士・副主任保育士 ・クラス会議 月1回 園長・主任保育士・担当保育士 ・給食会議 月1回 園長・主任保育士・常勤全員 ・個人面談 年1回 職員・保護者 ・保育参加 年1回 職員・保護者 ・おや子ふれあいデー反省会 11月全職員 ・株主総会 代表取締役が召集 株主 ・経営会議 2ヶ月に1回 ・市川市私立保育園園長会 随時 園長
14	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・防災設備、備品の確保 ・園周りの植栽整備 ・園舎の定期清掃、美化 ・OA 機器補充、交換 ・家具什器補充 ・非常食糧の備蓄

15	資金計画、積立計画	「令和3年度決算書」参照
16	その他	自己評価を公表した。 コロナの影響がある中の保育となった。 日々、改善して運営を進めていきたい。